

# ふれあい

2011

# 12

No.297

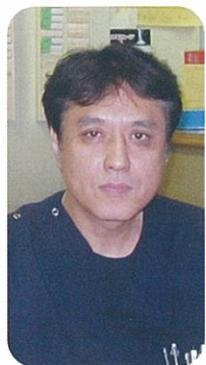
牛久愛和総合病院 広報誌



『庭に咲く皇帝ダリア』撮影者：理事 居代 時子

## 代替医療の効果

特任副院長 千葉 俊也



皆さんは「代替医療」という言葉を御存知でしょうか。「通常医療の代わりに用いられる医療」という意味の概念で、補完

医療あるいは両者を併せて補完代替医療とも称されています。内容は多岐にわたり様々な分類

がなされていますが、代表的なものとしてハーブ類やサプリメントなどの物質を利用する生物

学的治療、鍼灸、カイロプラティック等の手技療法や身体を介する治療、気功、伝磁気刺激等

を用いたエネルギー療法などがあげられます。鍼灸、カイロプラティック等の看板や広告はどこ

この街でも見かけますし、「〇〇で××が治った!」「癌が消えた!△△療法」等々の扇情的

な書籍広告を新聞紙上で目しない日はなく、健康食品類のTVCMはくどいほど流れてお

り、様々な媒体を通じて大部分の方が代替医療に関する情報に

日常的に接しているはずで、実

際に利用してみた方も少なくないのではないかと思います。私自身院内外問わずこうした代替医療に関する相談を良く受けま

すし、相談されたことのない医師はほとんどいないと言っても

過言ではないほど日常に溢れています。

こうした代替医療には一体どれほどの効果があるのでしょうか。代替医療には「主流派の医師の大半が受け入れていない治療法」という定義もあります。

多くの医師が受け入れていない背景としては科学的根拠(エビデンス)に欠けていることが大きい理由だと考えられます。現代医学においては新しい検査、治療や薬剤などの有用性を評価

するためには無作為比較試験(RCT)と呼ばれる厳密な検証が必須となっています。データの偏り(バイアス)を軽減す

るため、被験者を無作為に処置群と比較対照群に割り付けて実施し、評価を行うという試験で

す。近年では高いエビデンスレベルを得るために数多くの対象でRCTを行う大規模臨床試験

が主流となってきました。一

方代替医療の大半はこうしたエビデンスを全くと言っていいほど有していません。代替医療に関する科学的検証結果を収集し有効性を論じた「代替医療のトリック」(サイモン・シン、エツアート・エルンスト共著、新潮社刊)では代表として鍼、ホメオパシー、カイロプラティック、ハーブ療法を取り上げ、「ホメオパシーに関しては全く無効、他の治療もごく一部の症状にのみ有用であるかもしれない」程度のエビデンスしかないと現段階で結論付けています。

また国立健康・栄養研究所のホームページには健康食品やサプリメント等に関する論文情報等

が詳細に掲載されています。これを見ればコンドロイチンやグルコサミン、ヒアルロン酸等の

類いがあたかも「関節を強くする効果」を有するかのよう

に造られたCMの胡散臭さがよく分かると思います。これらの物質

が関節等を形成する成分であることは事実ですが、経口摂取したものが関節形成に効果がある

ことは証明されていません。

(2面につづく)

「腰痛がとれた」「歩行がスムーズになった」などと自らの体験で反論される方もいるかもしれませんが、先に述べたエビデンスの考え方からすれば、偽薬効果等のバイアスが多すぎて「効いた、良くなった」と称する人をたとえ何百人集めようとも直接の効果であるということを証明できず、残念ながら医学的には全く評価されないのです。これらのサプリメント系の服用について良く尋ねられますが、私は「髪の毛を食べて髪の毛が生えると思いますか」とお答えしています。

料)だの「サービス価格」と謳っていてもいざ相応な金額を出費せざるを得ない仕組みが大部分なのです。明確なエビデンスを有する医薬品より、有効性が証明されていないどころか有害かもしれない物質に貴重なお金を費やすことが果たして妥当なことでしょうか。これから何らかの代替医療を試そうとしている方にはこうした点を良くお考えになって頂きたいと思っています。

**品はじめまして**



11/1付入職  
医事企画部  
高野昭子

至らないところはあると思いますが、慎重に正確に職務を全うしたいです。



11/1付入職  
医事企画部  
堀令子

いつも元気で前向きねと、言われます。相手を思いやる気持ちを大切に仕事をしたと思います。



11/1付入職  
医事企画部  
茂木寛子

患者様の立場になり、思いやり笑顔忘れず！を目標にしていきたくと思っています。



11/16付入職  
医事企画部  
吉田真梨子

茨城に住んで早8年。地域の皆さまのお力に少しでもなればと思っています。



11/1付入職  
春秋園  
今泉雄貴

またお世話になれる事になりました。よろしくお願ひします。趣味：サッカー観戦



11/1付入職  
春秋園  
新道裕子

私は、人と話す事が大好きです。利用者様の気持ちになり、笑顔をみなさんに届けて行きたい。

**血液透析のシステム**

臨床工学科副科長 篠崎 初美

血液透析は、血液中の老廃物の除去や電解質・水分量の維持を腎臓の代わりに行う治療です。血液を循環させるポンプ装置を使って人工腎臓という細長い筒に血液に流し、血液をきれいにして体内に戻しています。血液をきれいにするには透析液というものが使われますが、この透析液を作成するためには大掛かりなシステムが存在しています。透析液を作成するには、① 逆浸透水処理装置という装置で、水道水や井戸水を透析に適した水に処理します。② その処理水を利用し、透析液の元になる原液を作成します。原液は2種類の薬剤に分かれており、当院では粉末タイプを使用しているため、それぞれの溶解装置で溶解します。③ 作成した2種類の原液は、透析液供給装置に送られ、先ほどの処理水で希釈されま

す。ある一定の比率で希釈され、透析液が完成します。④ この透析液をベッド脇の透析装置に送り、そこから人工腎臓へ流して血液透析が実施できようになります。血液透析はこのようなシステムで実施されるため、大量の水を使用します。1回の透析に必要な水の量は約120Lで、当院では同時に34人の透析を行うので最低でも4tは必要です。加えて治療前後の洗浄・消毒にもかなりの量を使用します。

血液透析のシステムには、電気の供給に加えて水の確保も重要です。特に災害時には供給が困難になる可能性もあるため、自治体を含めた地域全体で取り組まなければならない課題となっています。

### 春秋園だより

師走の風が身にしむ頃年の瀬もいよいよ押し迫り、雪の便りも届くころになりました。寒さが、いっそう増してきましたが、皆様、体調等崩されておりませんか。

今回は、十月三十日に外出を企画し、二・三階合同で、ポティロンの森に行つてきました。少し冷たい風が吹いていましたが、皆様風にも負けず元気いっぱいでした。ポティロンの森に着き、動



物に餌をあげたり、触つたりしました。最初は、驚いていましたが、少しずつ慣れてきて笑顔も多く見られました。

自由行動になり、アイスを買つて、召し上がる利用者様もいました。すごく美味しそうな表情をされておりました。他にも、コスモスがさいており、フロアにお土産にと、一生懸命摘んでいた姿がとても、印象に残っております。外出に行かれた利用者様より、「楽しかった、また行きたい」という声が聞かれました。また、季節にあった行事を企画して行くので、楽しみにして下さいね♪

(春秋園スタッフ一同)

### 『第20回』 生活習慣病教室

テーマ

脳梗塞くA to Z

日時 平成24年1月16日(月)  
14時00分から約一時間

講師

神経内科 吉田医師

会場 牛久愛和総合病院  
B館2階 大ホール

参加費 無料

事前予約は不要です。ご興味のおありの方は、お誘いあわせの上お気軽にご参加ください。

◎お問い合わせ先

牛久愛和総合病院 総務課

電話

029-873-3111(代)

### お悔やみ

村瀬



茂先生 (61歳)

牛久愛和総合病院副院長

平成23年12月4日(日)逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

### 第13回愛和健康まつりが開催されました



10月30日(日)に「愛和健康まつり」を開催いたしました。前日まで雨が心配されましたが、何とか天気も持ち直し無事開催することができました。

高崎院長、田中施設長の挨拶に続き、牛久市保健福祉部長 清水様よりお言葉を頂き、かわいらしい子供たちのマーチングバンド「eif」の演奏で開会しました。

毎年人気の検査「骨密度測定

「血液検査」「聴力検査」に今年は「肺活量測定」も加えて整理券を配布しましたが、すぐに無くなつてしまい皆さんの健康への関心の高さがうかがわれました。子供たちも、牛久消防署協力による「はしご車試乗」、手作りのゲームにチャレンジするゲームコーナーなど楽しんでいました。

その他にも、チャック・ウィルソン氏による「健康講話」、フラダンス、太極拳のパフォーマンスショー、「牛久かつば太鼓」などで賑わいました。

ご参加いただいた方からは「今年初めて来ました。病院でこういう催しがあることを知りませんでした。来てよかったです。是非来年も来ますので続けてください。」などのご意見を頂き、盛況のうちに終了致しました。

来年も皆さんのお役に立てるよう企画したいと思っております。たくさんの方にご参加頂きありがとうございます。ありがとうございました。

(健康まつり実行委員会)



当院では毎年11月25日を挟む1週間を医療安全推進週間と定め、医療の質の向上と医療事故防止のための活動を実施しています。①リスクマネージャーによる危険予知（KY）安全パトロール ②医療安全講習会③当院の医療は本当に安全か？+（実演）④各部署で目標を掲げ安全活動④茨城県リスクマネジメント学会参加（7名）などです。今後も質的充実や専門性の向上を図りながら、患者さんの状況に的確に対応できる医療をめざし努力したいと思いません。

医療安全推進週間

11/24～11/30

《出来事ピックアップ》

七五三参りマリアナナサリ

11/15

11月15日、猪子の鹿島神社へ七五三参りに行きました。5・6歳が小さい子と手をつないで行きました。神社へ着くと、まず順番に手を洗いました。おさい銭の5円玉を渡すと大切そうに握りしめていました。お参りする時には、真剣な面持ちで手を合わせていました。みんなが丈夫で大きくなる様にお参りしました。その後は、石を渡ってジャンケンをしたり、「ママのお土産にするの！」と、どんぐりを拾いました。袋いっぱいに入れて、どんぐりの帽子だけを拾ったりと様々です。秋のお土産をたくさん持って帰ってきました。（今泉）

編集だより

十日の夜に皆既月食がありました。きれいな満月がどんどん欠けていき、ぼんやりとした月になってまたもどりました。神秘的でした。皆さんもすてきな天体ショーがある夜空を見上げてみてください。（C・S）

**病院理念** 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

**病院概要** 病床数 504床（一般445床 医療療養型59床）

**施設** 敷地 57,911㎡ 駐車場 1040台



診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来（シャント外来）

【専門外来】

整形専門（股関節、脊椎、スポーツ）  
小児科（小児循環器、小児心理）  
循環器（心臓血管外科）  
形成外科（アンチ・エイジング、レーザー）  
皮膚科（レーザー）

日本医療機能評価機構認定病院  
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地  
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031  
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター Tel 029-873-4334  
健康増進施設 スポーツリラククス Tel 029-874-8791  
介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100

